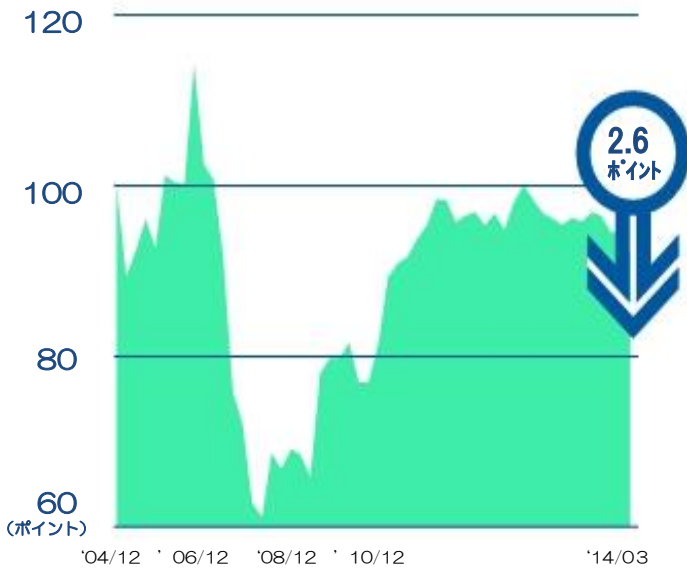


2014年 4月

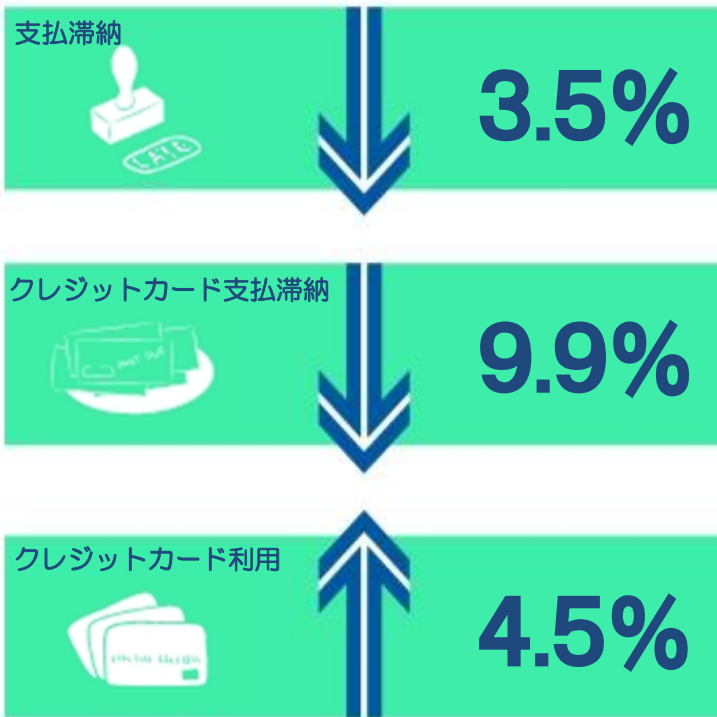
www.dnb.com/tracker

中小企業健全性指数

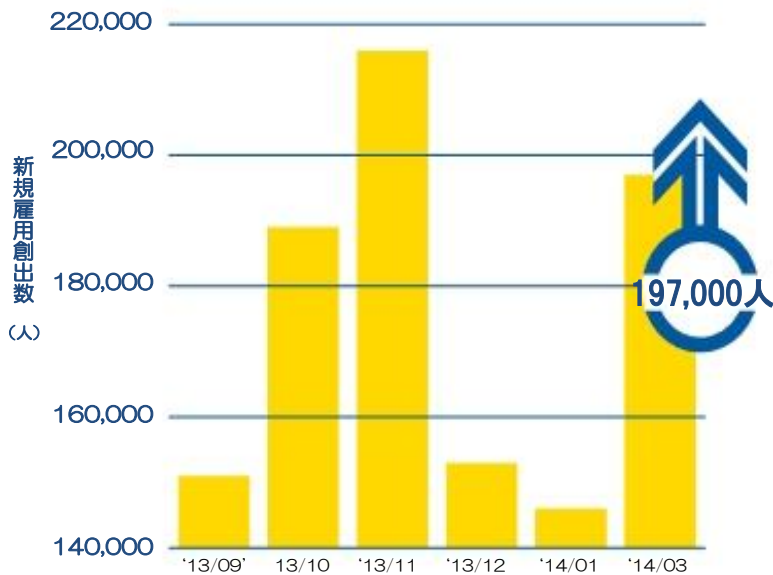


出典：D&Bグローバルデータ、インサイト&アナリティクス

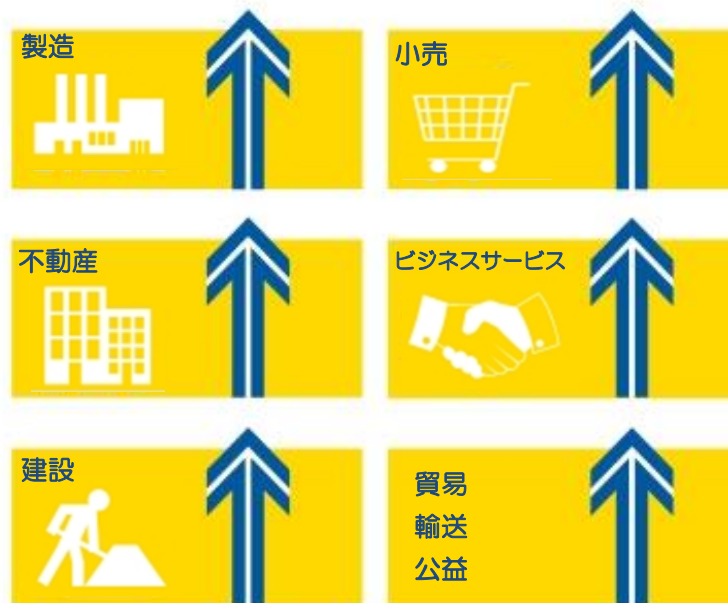
D&B中小企業健全性指数は再び悪化しており、短期的な経済見通しに関し、更なる警戒感を引き起こしています。天候が悪化の一因であることは確かであり、今回の悪化は注意に値します。



米国の雇用健全性



出典：D&Bグローバルデータ、インサイト&アナリティクス

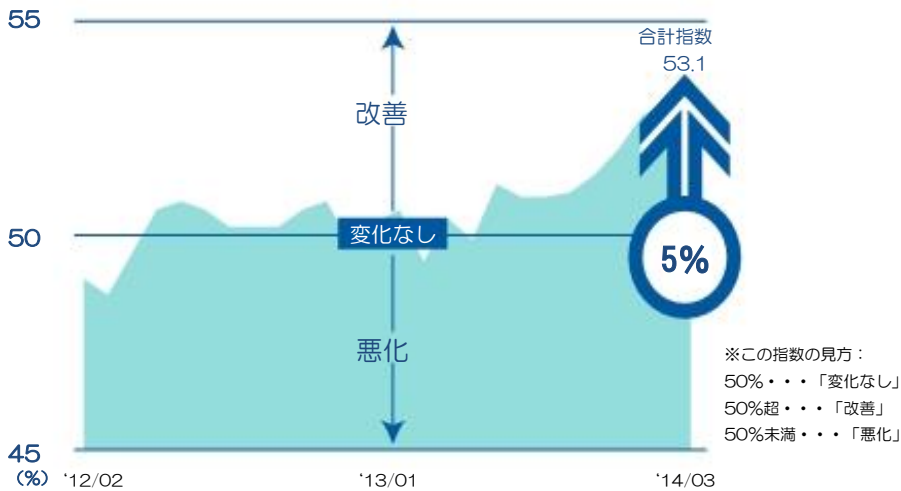


D&Bの推定では、2014年3月、建設、ビジネスサービス、および貿易、輸送、公益での著しい雇用増により、米国の新規雇用創出数は197,000人となりました。

2014年 4月

www.dnb.com/tracker

米国企業健全性指数



出典：D&Bグローバルデータ、インサイト&アナリティクス

2014年3月の米国企業の健全性は、前年比5%改善しました。企業の破綻リスクは低く、引き続き支払いをきちんと行っています。

存続可能性 ↑ 12.2%

滞納 ↓ 1.1%

総損失 ↓ 1.2%

解説

2014年3月の「D&B米国経済健全性レポート」では、米国企業の懸念材料と好材料がさらに混在するような状況となりました。

中小企業健全性指数は、2四半期連続で著しく安定して推移した後、ここ数カ月間は悪化しています。中小企業セクターの減速の一因が、悪天候にあることは確かであり、米国の景気拡大が第2四半期に移行する中で、中小企業セクターの停滞が継続していることには特に注意が必要です。

一方、新規雇用創出数は、推定で197,000人に上りました。特に建設、ビジネスサービス、および貿易、輸送、公益部門が当月の雇用の伸びを大きく牽引しています。全体の米国企業健全性指数は、3月も引き続き上昇し、53.1%を記録しました。これは、2010年12月にこの指数を算出し始めて以来、前月（2014年2月）に匹敵する最高の値となっています。D&B存続可能性格付け、滞納予測、総損失予測の加重平均に基づいて言うと、米国企業の財務健全性は2014年初めに強化されています。全体的に見て、好材料と懸念材料が混在していることから、米国企業全体の回復は断続的に続くものとみられます。

各指数の算出方法について

「中小企業健全性指数」は、支払パターン及びクレジットカードの利用等の加重により、中小企業の前年比実績を測定評価したものです。

「米国の雇用健全性」は、中小企業健全性指数の業界データを米国労働統計局（BLS）の数値と組み合わせて、毎月の非農業部門雇用者数を予測したものです。「米国企業健全性指数」は、D&Bの存続可能性格付け、滞納予測、総損失予測の加重平均の前年比増減を示したものです。変化の大きさを測定する累積景気動向指数（累積DI）には、ゼロ（全企業が高リスクを記録）から100%（全企業が低リスクを記録）までの幅があります。データについては、2014年3月28日の時点で入手可能なデータを元にしています。

詳細についてはウェブサイト (www.dnb.com/tracker) をご覧ください。

ダンアンドブラッドストリート® (D&B) について

ダンアンドブラッドストリート (NYSE:DNB) は、商業情報およびビジネスインサイトを提供する世界有数の情報提供企業であり、172年にわたって企業の「Decide with Confidence® (確信のある意思決定)」を支援してきました。D&Bのグローバル商業データベースには、2億3000万件以上のビジネスデータが記録されており、お客さまに質の高いビジネス情報を提供するD&B独自のDUNSRight®品質保証プロセスが、このデータベースを強化しています。これら質の高い情報は、お客さまが重要なビジネス決定を行う上で信頼を寄せている当社のグローバルソリューションの基礎となっています。

© Dun & Bradstreet, Inc. 2014. All rights reserved. (DB-3765 3/14)